

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	薬理学の基礎		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	曾和 鮎美	実務経験とその関連資格	伊丹恒生脳神経外科病院薬剤師として勤務。2015年より医療安全管理者兼務。調剤業務、病棟業務、DI業務に加え医療安全管理室長、NST専門療法士、感染対策に従事。その他学校薬剤師として地域の小学校などを担当し、講演会も行っている。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>各疾患の薬物治療、有害作用対策について重点をおいて講義する。また、この講義を理解するには生理学、病態についての知識が必要となるためこれらの内容も概説する。一連の講義を通じて臨床工学技士に関連する医薬品について理解を深めるとともに、医療チームの一員として多職種協働するための基本的知識を習得する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>期末試験・出席点</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>教科書: わかりやすい薬理学 第4版 安原一・小口勝司編集 スーヴェルヒロカワ出版</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業終了後にきちんと復習しておくこと。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>授業1回、1コマの講義内容を大切にしながら履修してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医薬品の定義、薬物治療の目的を概説し、その基本となる用語について説明する。薬物のおもな投与経路について学習する。	教科書・配布資料	シラバスを確認しておくこと	
		各コマにおける授業予定	薬理学総論/薬物の投与経路			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物の体内における動態(生体内運命)を理解する。	教科書・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	薬物の吸収・分布・代謝・排泄(ADME)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経・末梢神経系の基礎知識、治療に関連する薬剤の理解を深める。	教科書・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	中枢・末梢神経系に作用する薬物			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患・消化器系疾患の基礎知識、治療薬について理解を深める。	教科書・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	循環器・消化器系に作用する薬物			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液の機能について概説するとともに、血液疾患治療薬(抗凝固薬・血栓溶解薬)について理解を深める。腎臓に関連する疾患・治療薬について理解を深める。	教科書・配布資料	講義内容の復習	
		各コマにおける授業予定	血液・造血器系に作用する薬物・腎臓に作用する薬物			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖代謝・脂質代謝・ホルモン調節に関わる治療薬、ビタミンについての理解を深める。	教科書・配布資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	代謝機能・ホルモンに作用する薬物+ビタミン		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症・免疫機能の概要と関連する薬物治療について理解を深める。	教科書・配布資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	炎症・免疫・アレルギーに作用する薬物		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の概要と治療薬、感染症対策と消毒薬について理解を深める。	教科書・配布資料	講義内容の復習
		各コマにおける授業予定	感染症治療薬・感染症対策・消毒薬		